

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Gestational weight gain and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 妊娠中の体重増加と胎児アシドーシスの関連

ユニットセンター(UC)等名: 福島UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Scientific Reports

年: 2020 月: 11 巻: 10:20389 頁:

筆頭著者名: 村田強志

所属UC名: 福島UC

目的:

体重増加と胎児アシドーシスの関連を、分娩方法の違いに着目して調べました。胎児アシドーシスは低酸素などにより児の血液が酸性に偏る状態であり、進行すると児の状態が悪化してしまいます。胎児アシドーシスの状態は、分娩直後の臍帯血を用いて評価しました。

方法:

妊娠前身長体重、分娩直前体重より妊娠前BMI、妊娠中体重増加を計算し、参加者を妊娠前BMIによって5群に分けました。それぞれのBMIにおいて報告されている適正な体重増加を参考に、それぞれのBMIにおいて過剰な体重増加、不十分な体重増加を定義しました。適正な体重増加の群を対照群として、過剰な体重増加、不十分な体重増加における新生児アシドーシスのリスクを、検証しました。

結果:

妊娠前BMIが23以上25未満の群において、過剰な体重増加によって胎児アシドーシスのリスクが増加する結果が得られました。

考察:(研究の限界を含める)

今回我々は、エコチル調査データを用いて、妊娠中の体重増加による胎児アシドーシスのリスクを検討しました。過剰な体重増加は胎児アシドーシスの増加と関連があるため、妊娠前、妊娠中の体重のコントロールを含め、十分なカウンセリングおよび合併症に注意した妊娠管理が重要であると考えられます。

結論:

過剰な体重増加によって胎児アシドーシスのリスクが増加しました。